

PUSH通信

Vol. 8

Save ALL, Share LOVEみんなを助けよう！愛を分かち合おう！

AED



AED



前文部科学大臣に提言

「小学校からの救命教育」学習指導要領に盛り込んで

2024年現在、中学校と高等学校の学習指導要領には「AEDなどを用いた心肺蘇生法」が必修項目とされていますが、**小学校ではいまだ必修化されていません**。しかし、心臓突然死は「いつでも、どこでも、だれにでも」起こり得ます。そして、助かるはずの命を救えるのは、そばにいる人だけです。

2011年9月、さいたま市立小学校に通っていた桐田明日香さん（当時11歳）は、練習中に突然倒れてしまいました。ところが、学校にあるAEDは使われず、翌日に息を引き取られました。このような痛ましい出来事が今後起こらないよう、AEDの普及啓発に取り組む日本AED財団は関連する学会や組織と共に、AED講習を小学校の学習指導要領に盛り込むことを求める要望書を前文部科学大臣へ省に直接提出しました。

AEDはほとんどの学校に設置されていますが、**AEDの使用法の講習を実施している小学校の割合は3割にとどまっています**（文部科学省調べ）。学校では、スポーツや給食中などに心停止が起こっています。だれもがAEDを使用できるようになることが理想です。助かるはずの命が1人でも多く救えるように、小学生に対するAED講習の必修化が進むことが強く望まれます。



日本AED財団 HPより
小学校からの救命教育の普及
並びに学校における心臓突然死ゼロを目指した危機管理体制整備の提言

使い方はどれもほとんど同じ
AEDが全てアナウンスしてくれる



PUSHコースでの一次救命処置講習で
AEDの使い方のポイントが分かるよ！



「たたかう！救急アニメ 救え！ボジョレー！！」Ver.5.0



学校の先生に一次救命 インタビューしてみました



学校で一次救命処置に関する授業はどうしてる？PUSH コースの講習会はできる？
今回は中学校での様子を聞いてみました！

さかいしいづ いざみがおかひがし

堺市立 泉ヶ丘東中学校



奥野 晃平（おくの こうへい）先生
2年男子体育ご担当

生徒への一次救命処置講習の実施方法は？

中学校2年生の2学期に、体育の授業の中で保健体育の教科書に沿って行います。最初は教科の内容に関する座学での講義を行い、傷病者を発見してからAEDを使用するまでを実践します。その後15分程度の中で、実践編として「あっぱくん®ライト」を使用して胸骨圧迫のトレーニングを行います。この時、圧迫の速さと強さ（音が鳴ること）が重要であること、体力的にしんどいことを実感させることに重点を置いて指導しています。さらに、疲れた時には交代して続けることも実践してもらっています。胸骨圧迫のリズム音源は、インターネット上にあるリズムの動画を使用しました。AEDは学校が所有するデモ機に触れてもらっています。



カリキュラムが決まっている中で、体育の授業中に PUSH コースの講習会を行うのは難しい場合もありそう。あっぱくん®ライトのみの使用でも学習効果は高いけど、課外活動時間などを使うことで、学校での PUSH コースによる一次救命処置講習がもっと広がるといいですね！

学校PUSHに関する詳細は
こちらから



PUSH コースでの一次救命処置講習 ここが素晴らしい！



あっぱくん®ライトで一度に大人数の講習会ができる



PUSH コースの一次救命講習は 50 分で実施可能



一年後の胸骨圧迫や AED のスキルは、3 時間の講習会よりも維持できる



心肺蘇生トレーニングツール
あっぱくんライト®
株式会社アレクソン

Nishiyama C et al., Acad Emerg Med. 2014

特定非営利活動法人

大阪ライフサポート協会

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5ステュディオ新大阪416号室

<https://osakalifesupport.or.jp/>